



公共建築におけるSDGsに定める取り組み

～ 名古屋第4地方合同庁舎 ～ 中部地方整備局



※外観イメージ

<整備概要>

- ・所在地：愛知県名古屋市中区三の丸
- ・庁舎：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
地上11階地下1階 免震構造
延べ面積 約25,000㎡
- ・整備スケジュール
設計：令和4～5年度
工事：令和5～7年度

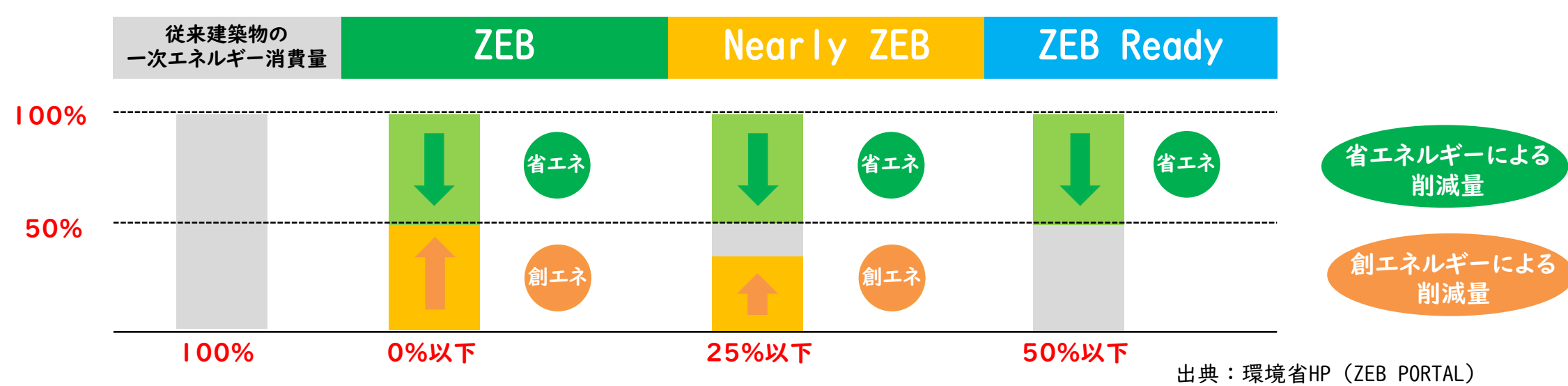
| | | | |
|--------------------------|---------------------|-----------------------|----------------------|
| 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 8 働きがいも 経済成長も | 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう | 11 住み続けられる まちづくりを |
| 12 つくる責任 つかう責任 | 13 気候変動に 具体的な対策を | 15 陸の豊かさも 守ろう | |

本事業は7つの項目を重点的に取り組みます

省エネルギー庁舎の実現

ZEB Ready庁舎

ZEB（Net Zero Energy Building）とは、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支ゼロを目指した建物のことであり、ZEB Readyとは、ZEBを見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物のことです。



実現するための工夫

外皮負荷を考慮した空調計画・遮熱及び断熱性能の高い外皮仕様・外気冷房機能の活用・照明制御・高効率機器の導入による消費電力の削減などを計画します。

積極的な木材利用

CLT材の活用

CLT（Cross Laminated Timber）とは、ひき板（ラミナ）を並べた後、繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料のことです。FSC認証を得たCLT材の活用に努めます。



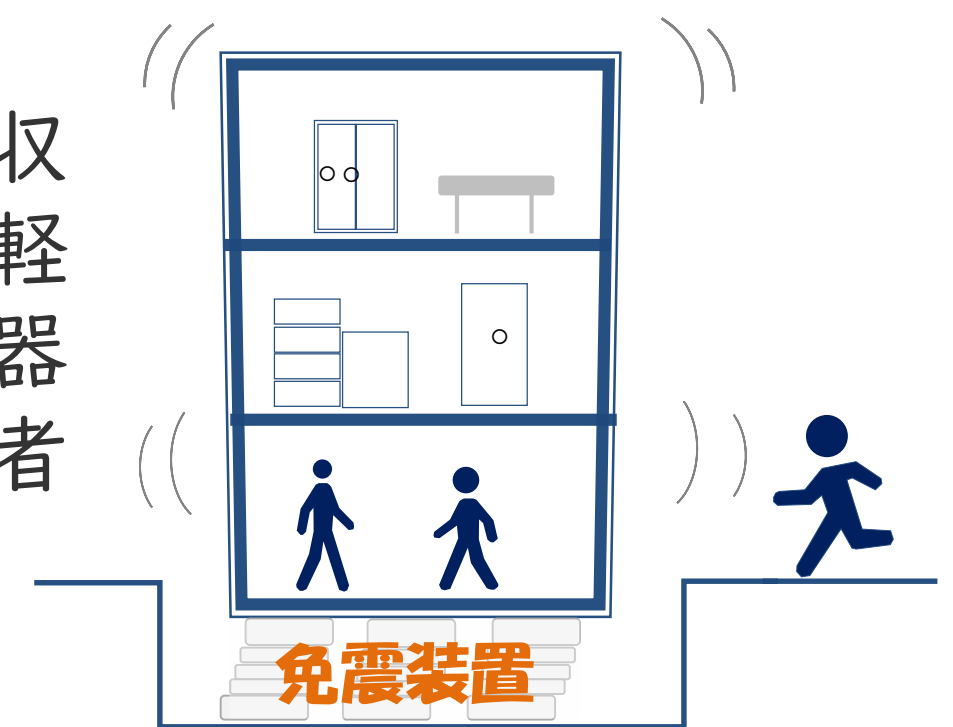
内装の木質化

木材特有の温かみを活かした空間づくりに努めます。可能な限り中部地整管内（岐阜・静岡・愛知・三重・長野南部）の杉材を活用します。

地域防災への貢献

免震建物の採用

免震装置が地震の揺れを吸収することで、建物の揺れを軽減し、什器・備品・設備機器の転倒や落下を防ぎ、在庁者の安全を確保します。



災害時の対応

ライフライン途絶時でも電力、空調、給排水機能及び交信手段を確保し、庁舎機能の維持に努めます。災害情報は最新技術を用いて在庁者へ即座に周知するとともに、庁舎1階での一時避難を可能とする計画です。

名古屋城外堀の自然を継承

三の丸の森

敷地南側には外堀の自然環境を継承した広場を計画し、居心地のよい歩きたくなるまちづくりとし豊かな自然の中で人々の交流を促します。地域に根付く森をつくるために、樹木は小さく植えて大きく健全に育てる計画です。



※外構イメージ

植栽計画

名古屋城への通りに相応しい地域固有の植栽を植えることで、名古屋らしさを演出する計画です。